

# 商工会議所DX推進プラン：事務作業の削減から会員サービスの向上へ

## 現状把握：デジタル化を阻む3つのボトルネック



**1. システムと手作業の「二重管理」**  
システムにデータがあるのに、報告用に別途Excel作成や手書き累計を行っています。

**2. 意思決定を遅らせるアナログ作業**

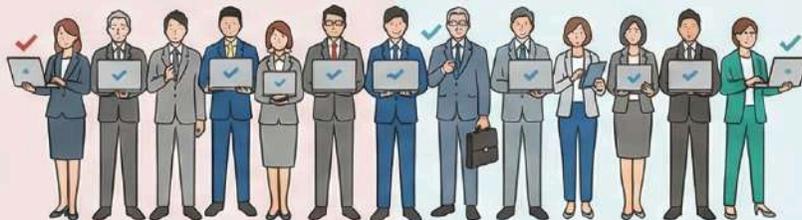
出勤簿の押印、指写式の領収書、紙の台帳管理が膨大な手作業を生んでいます。



**時代にそぐわない「規約」の壁**  
規約遵守のために形像化した二重の日経作成や、大量の文書保存が負担となっています。

## アクションプラン：内部変革から会員サービス向上へ

15名全員がシステムアカウント所有（宝の持ち腐れ状態）



現状

目標

- ✓ 全職員（紙）＋個人（Excel印刷）
- ✓ 2ヶ月に1回の「紙の会議」

- ✓ 100%活用（紙の廃止）
- ✓ システム入力のみ（衛素化）
- ✓ メルマガ・公式LINEでの即時発信



**STEP 1：直近の調査と方針決定**

先進事例（津久見商工会議所）を調査し、3月の総会に向けた規約改正案を策定します。



**STEP 2：内部業務のペーパーレス断行**

業務日誌のシステム入力一本化、請求書の電子化、グループウェアによる共有を推進します。



**STEP 3：対外サービスの変革**

事務削減で浮いた時間を、会員企業のDX支援や相談業務へ優先的に投入します。